

こころとからだに、
おいしいものを。



ダイドードリンコ株式会社

2016年1月25日

各位

ダイドードリンコ株式会社
公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会

ロコモティブシンドロームへの対策を強化

「踊育(だんいく)-親子ヒップホップ教室-@ふくしま」

「踊育(だんいく)-東北ダンスプロジェクト-」

2015年度活動結果と厚生労働省とかしきなおみ副大臣表敬訪問のご報告

ダイドードリンコ株式会社では、継続的な社会貢献活動の実現を目的とした「地域コミュニティ貢献積立金」を設けており、この積立金を活用した社会貢献活動の一つとして、2012年より「踊育(だんいく)-東北ダンスプロジェクト-」を、2013年より「踊育-親子ヒップホップ教室-@ふくしま」を公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会(以下、NSSA)の協力のもと、それぞれ実施しております。昨年12月末まで実施した2015年度の活動内容と、その結果をご報告いたします。

また1月20日には、当社執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長 長谷川直和とNSSA代表理事 吉田健一が、とかしきなおみ厚生労働副大臣を表敬訪問し、ロコモティブシンドローム(以下ロコモ)予防への効果が期待できる「ロコモ予防ダンス」を取り入れた「ロコモ予防ダンス-親子ヒップホップバージョン-」を新たにスタートさせたことをご報告いたしました。



【写真】とかしきなおみ厚生労働副大臣(左)と当社執行役員 長谷川直和(右)

【とかしきなおみ厚生労働副大臣からのコメント】

本活動について、とかしきなおみ厚生労働副大臣から「私もダンスをしていますので、ダンスの運動効果は理解しており、ロコモティブシンドロームの予防に効果的だと考えています。ダイドードリンコさんの“踊育”の実績を高く評価しており、今後もダンスを通じたロコモ予防の継続的な支援に期待しています。」とコメントをいただきました。

○「踊育(だんいく)-親子ヒップホップ教室 @ふくしま-」について

東日本大震災の影響で、体力低下が懸念されている福島県において、未就学児童とその保護者を対象にダンスレッスンを実施しています。運動不足解消やストレス解消を図るとともに、2015年11月からは若年化が進み社会問題になりつつあるロコモ予防への効果が期待できる「ロコモ予防ダンス-親子ヒップホップバージョン-」をスタートしました。

【実施の様子】



【2015 年度活動報告】

2015 年度は、福島県内 12 の施設で計 256 回のダンスレッスンを実施し、延べ 15,000 人を超える方々（子ども：11,585 人、保護者：3,517 人）に参加いただきました。

施設数	12会場	参加人数(子ども)	11,585人
実施回数	256回	参加人数(保護者)	3,517人
参加者合計			15,102人

○「踊育（だんいく） - 東北ダンスプロジェクト -」について

被災地の子どもたちが体を動かす場が少ないという現状や、学校教育におけるダンス授業が導入されるなどを契機に、「ダンスを通して明るく元気になってほしい」との願いから生まれた活動です。岩手県、宮城県、福島県の3県において、幼稚園、小学校、中学校などを対象としたダンス授業を実施しております。

【実施の様子】



宮城県 利府町立利府第二小学校



岩手県 山田町立船越小学校



福島県 会津若松市立神指小学校

【2015 年度活動報告】

5月14日の岩手県山田町立船越小学校からスタートし、延べ101校の幼稚園・小中学校などでダンス授業を実施し、合計8,471人の子どもたちに参加いただきました。

地域	学校数	参加人数
岩手県	36校	2,549人
宮城県	35校	3,205人
福島県	30校	2,717人
合計	101校	8,471人

今年度から、小中学校、高等学校における定期健康診断でロコモに関する運動器のチェックが始まるため、ロコモ予防ダンスの「-踊育-東北ダンスプロジェクト」への展開も検討いたします。

今後もダイドードリンコは、「地域の活性化」「青少年の育成支援」「当社オリジナルの活動」というコンセプトに基づいた支援活動に取り組み、豊かな地域社会の実現へ貢献したいと考えております。

*** 本報道資料に関するお問い合わせ先 ***
ダイドードリンク株式会社 広報・IR 部 担当: 正本／梅垣
〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー18F
TEL: 06-6222-2621 FAX: 06-6222-2623